

みんなでつくろう！伊予市図書館、文化ホール等 建設市民ワークショップ通信

発行：伊予市役所総務部庁舎建設課 Tel：089-982-1111 内線581・582

7月13日（日）の午後、郡中地区（中央）公民館にて、第2回「みんなでつくろう！伊予市図書館、文化ホール等建設市民ワークショップ^{*1}」を開催しました。台風一過の蒸し暑い一日でしたが、約65名の皆さんにご参加いただきました。

最初に、伊予市にある類似施設での文化活動の現状について、事務局より説明し（p2～）、次に（株）山下設計から、図書館、文化ホール、公民館の3つの施設の使い方と空間の提案について説明しました（p3～）。その後、参加者が何度か席替えをしながらいろいろな人と話し合い、3つの施設空間に対する要望を出し合いました。たくさん出されたポストイットの内容を、テーマ別に分かれたグループ内で整理し、設計者と伊予市に対する要望事項をまとめていきました。グループの話し合いの結果を発表した後、全体の場で検討課題を設計者と確認し（p4～）、最後に感想カードを書き、第2回のワークショップを終了しました（p18～）。

前回と今回のワークショップでは、参加者からたくさんの意見をいただきました。第3回目からは、テーマを絞って話し合いを深めていくこととなりますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

<プログラム>

1. はじめに
2. 伊予市にある類似施設での文化活動の現状を紹介します
3. 3つの主要な施設空間に対する設計者の考え方を説明します
4. 3つの施設空間に対する要望を出し合います
5. 検討が必要だと思う項目をまとめます
6. 各グループの発表を聞いて、全体で話し合います
7. まとめ

全体スケジュール

第1回 2014. 6. 22(日)

- ・まちと施設の素敵な関係を考えよう！

基本設計

第2回 2014. 7. 13(日)

- ・文化活動の現状を知り、3つの施設空間の検討課題を考えよう！

第3回 2014. 8. 10(日)

- ・3つの施設空間の提案を確認し、「文化ホール」についてじっくり考えよう！！

第4回 2014. 8. 31(日)

- ・文化ホールの魅力づくりと運営を考えよう！

第5回 2014. 9. 21(日)

- ・図書館の魅力づくりと運営を考えよう！

第6回 2014. 10. 19(日)

- ・公民館の魅力づくりと施設全体の運営を考えよう！

第7回 2014. 11. 9(日)

- ・基本設計を現地で原寸確認しよう！

実施設計

第8回 2015. 2月開催予定

- ・市民が利用しやすい運営方法を考えよう！

第9回 2015. 3月開催予定

- ・市民協働の運営組織を考えよう！

第10回 2015. 5月開催予定

- ・手作りオープニング・イベントを考えよう！

解体工事

2015. 8月

福祉文化センター解体

2016. 1月

工事着工

2018年4月オープン予定

※1 ワークショップ…さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめていく場

伊予市にある類似施設での文化活動の現状を紹介します

現状の伊予市内の文化施設の利用状況、図書館・資料館の利用状況、公民館の利用状況について事務局より説明しました。

伊予市立図書館の現状と課題

(1) 現状

- ・昭和55年3月に完成し、図書館、文化財収集・展示のサービスを開始したが、近年の建物耐震基準の見直しにより、耐震性が不十分な状況となった。
- ・平成26年4月1日現在蔵書冊数は88,000冊、利用登録者数は11,700人、貸出冊数は68,000冊、来館者数は延52,000人となっている。
- ・文化財資料は古文書や埋蔵文化財、有形民族文化財など、約37,250点を保管している。

(2) 主な課題

- ・施設の老朽化が進んでいる（ひび割れ、雨漏り、壁の落下が進み、耐震性、耐久面が劣る）
- ・アクセスしづらい（駐車場が狭い、道路が狭い、2階への入口が階段のみ）
- ・面積が不十分（図書館、民俗資料館、民俗資料研究室全てのスペースが限界を超えている）
- ・古文書等資料展示室の資料展示がしづらい（広さの問題、マンパワー不足）

旧伊予市市民会館大ホール解体前の状況

(1) 状況

- ・昭和41年3月に完成し、文化発信拠点として利用されてきたが、50年近くが経過し、施設や設備の老朽化、施設の行政事務所への転換もあり利用者は減少傾向にあった。
- ・特に大ホールの稼働率は10年以上にわたり10%前後と利用が低迷していた。

(2) 利便性に関する状況

- ・舞台広さは間口が12.6m、舞台袖が上手下手共通で3.6m、奥行きが5.4mであり、講演会や小規模な劇団公演としては十分に利用可能な広さがあった。
- ・大道具搬入口は裏手に2カ所設けられていたが、敷地内の庁舎施設増築により、機材搬入車が進入できない状態であった。
- ・控室は和室と洋室の2室があったが、舞台とのアクセスが悪く利用頻度は低かった。
- ・観客席は606席、座席の幅が42.5cmであり、肘置の幅も狭かった。
- ・駐車場は市役所と兼用で70数台だったが、すぐに満車になり苦情も出た。
- ・大ホール内の移動手段は階段のみで、トイレを含め、バリアフリーに対応していなかった。

伊予市郡中地区（中央）公民館の現状

(1) 状況

- ・高齢者社会への対応、生涯教育とコミュニティづくりの推進などの福祉文化活動の拠点として、昭和49年11月に完成した。近年は施設の老朽化が進んでおり、将来大規模な修繕が必要となっている。
- ・2階、3階にある活動室までの移動手段は階段しかない。

公民館施設利用状況（平成23年度）

	大集会室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	視聴覚室	料理研究室	茶花研修室	工芸室
件数(件)	859 [836]	302 [311]	321 [413]	368 [261]	314 [327]	73 [68]	132 [188]	169 [152]
利用人数(人)	17,641	7,574	2,858	3,359	4,051	869	1,371	1,131
1件当たりの人数(人)	20.5	25.1	8.9	9.1	12.9	11.9	10.4	6.7
稼働率(%)	80.0	32.0	30.5	35.6	30.4	8.1	17.3	17.6

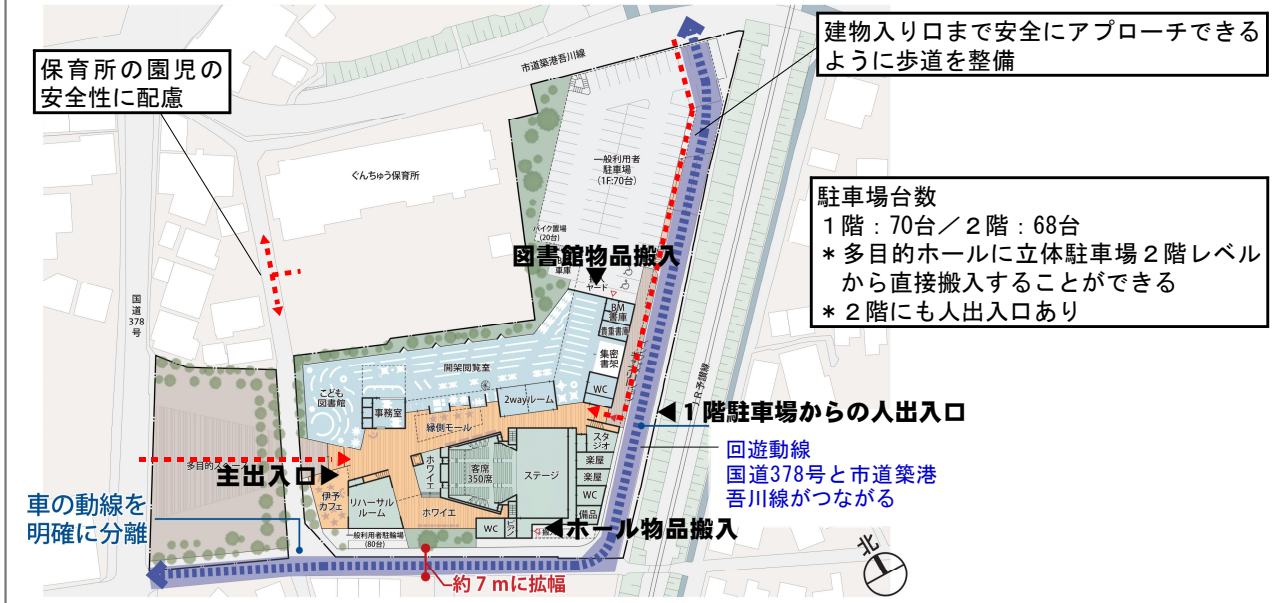
※件数の〔 〕内の数字はH25年度の状況

※稼働率は（3区分＜午前・午後・夜間＞全ての利用回数）÷（稼働日数×3区分）で計算しているため、実際の件数とは若干数値が異なります。

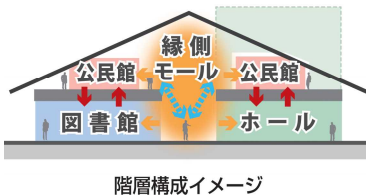
3つの主要な施設空間に対する設計者の考え方を説明します

現時点で考えている3つの主要な施設の使い方と空間の提案について設計者より説明しました

1. 外部動線、駐車場について



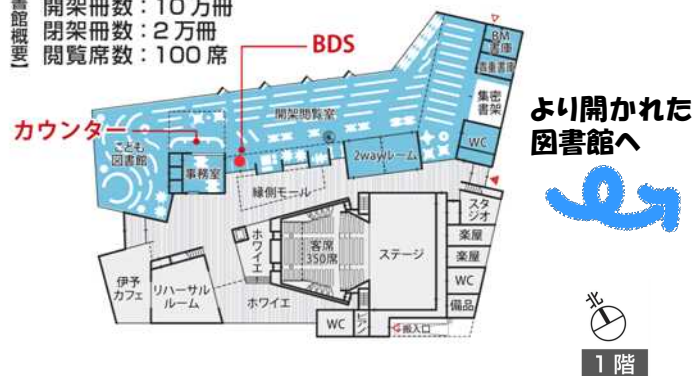
2. 階層構成について…1階にホールと図書館、2階に公民館



- 敷地の関係で全てを1階に配置することは出来ない。
- 1階にホールと図書館、2階に公民館を配置する。図書館エリアと公民館、緑側はガラススクリーンでゆるやかに分ける。
- 施設のいろんなところに自由に使えるスペースを確保（よどみのある施設）し、予約をしなくても使えるスペースが各所に配置されている。

3. 図書館の計画概要

【面積：1,800㎡（学習コーナー・収蔵庫含む）】
開架冊数：10万冊
閉架冊数：2万冊
閲覧席数：100席



- 1番利用されること、保育園側の高さを低くしたいということ、管理のしやすさ等を考えて1階に図書館を配置。

- BDS^{※2}を施設の出入口に設置することによって、緑側モール、カフェまでを図書館と一体的に利用することも可能。
- 特徴的なコーナーを外に出し、図書館の利用者ではない方にもアピールできる。
- その場合、図書館閉館中の管理など検討課題も多いが、休館時には図書館と緑側モールの間にシャッターを下ろす、外に出した資料は可動で中にしまうなど、運用の工夫で可能ではないか。また2階の出入り口にもBDSを設置すれば、そこにカウンターがなくても、図書の持ち出しの抑止力は働くのではないかと考えている。
- これらを含め、今後の検討課題である。

※2 BDS…Book Detection System。貸出処理をしていない図書を持ったまま出入口に設置されたゲートを通ると警告音が鳴るシステムのこと。

北側の窓を開けることなく自然換気を行う方法を採用

図書室

学級室

新聞コーナーは賑やかなエリアから離す

倉庫やWCなどで騒音カット

保育所の音（園児の声）

保育所

図書室

学級室

開架閲覧室

2wayルーム

断面的なくびれをつくる

図書室の仕上材料に吸音量の多い材料を使う

平面的なくびれをつくる

図書室

学級室

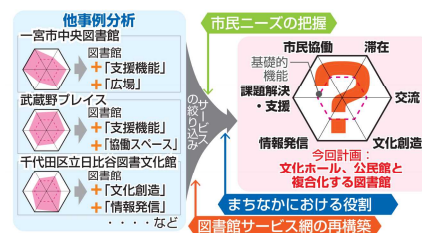
サービスカウンター

電車の騒音

北

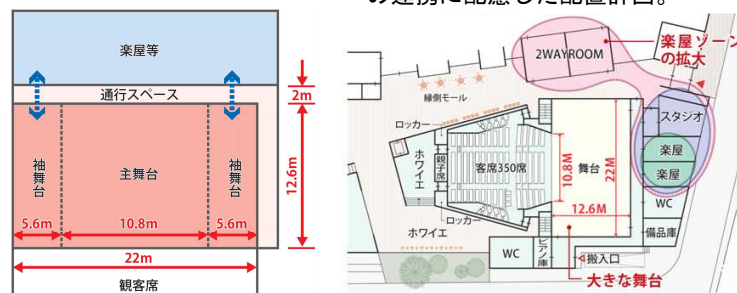
- ・愛媛県内の蔵書ネットワークの構築
- ・中山、双海の図書館との連携
- ・開館時間の延長
- ・伊予らしさをもった特色のある図書館
- ・問題解決支援型の図書館

※基本計画審議会資料より抜粋



- ・伊予市15km圏内のホールの座席数を比較したところ、350～400席のものが少ないため、今回はそれを計画している。
- ・周辺は多目的ホールが多いので、専門性の高いホールを造る視点もあるかもしれない。

※十分な大きさを確保した舞台と楽屋の連携に配慮した配置計画。



ホールのNCレベル（騒音等級）の設定

クラシックなどの音楽を満たす
コンサートホール（プロ仕様：NC15）

音楽が主体の多目的ホール
（プロ仕様：NC20）

市民利用が主体の多目的ホール
（アマチュア仕様：NC25）

音質を気にしない多目的スペース
（アマチュア仕様：NC30）

- ・今回はホールのNCレベル※³としてはNC25程度を計画している。これをNC25以上に上げるとすると、ハウスインボックス※⁴だけではなくて+αの仕様を付加することとなるので、ホールの目的と合わせて考える必要がある。
- ・舞台と客席の関係を大事にしたいと考えている。単純なワンスロープの客席ではなくとり囲んだ形や、舞台から観客の顔が見えるなど、どうデザインするかもこれからの大きな検討テーマである。

※4 ハウスインボックス…内部の床、壁、天井というものを完全に建物と切り離し、音や振動をカットする方法。

現公民館の諸室

(大集会室)
会議室
多目的室
(視聴覚室)
料理研修室
工芸室
茶花研修室
クラブ室

料理研修室 会議室 多目的室

多目的スペース

ロビー

和室

茶花研修室

整理作業

収蔵庫

機械室

ステージ 上部

客席 56席

ホール 上部

図書

学習コーナー

アトリエ

アトリエ (調理)

テラス

収蔵庫

アトリエ (工芸)

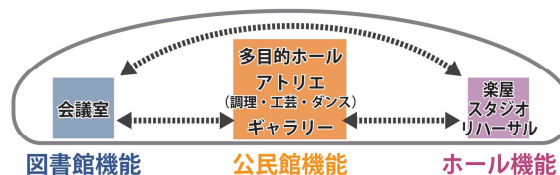
睡眠モジュール

アトリエ

リハーサルルーム 上部

収蔵庫

工芸室 クラブ室



- ・今回は複合施設なので、活動スペースを拡大し、他施設も含めた効率的な施設利用、他分野との交流促進を考えたい。
- ・用途に合わせた部屋を検討する。
- ・活動が外から見えるようにして、いつも賑わいがある公民館に（プライバシーを守るためにブラインド等の設置も可）。

3つの施設空間に対する要望を出し合い、検討が必要だと思う項目をまとめます

設計者の説明を聞いた後、席を自由に変わりながら3つの施設空間について要望を出し合いました。その後、関心のある3つのテーマに分かれ、出された要望を整理しながら検討が必要だと思う項目をまとめました。

図書館の空間と運営（1, 4, 7, 10, 13グループ）

<1グループ>

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①バリアフリー、ユニバーサルデザインを心掛ける（目の不自由な方、車椅子、老人）。
- ②心地よい空間（古本の臭気が発生しないように。）
- ③子ども、大人、老人…利用形態と音の問題を考慮

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①図書館機能が目の不自由な方にとっても利用できること（音源、読み聞かせ、ライブラリー）。
- ②開館時間（週1, 2回でも夜間利用できるように。21:00まで）
- ③本のラインナップ（新刊、ベストセラー、マンガ）
- ④図書館司書の充実（2, 3人）

■出されたポストイット【空間面】……………

図書館は1階で良い

- ・図書館は1階が良い。 ・空間は1階で良い。
- ・親子で使うことを考えると1階に集約した方が良いと思います。
- ・1階全てを図書館としての空間にすると良い。
- ・図書館は1階が良い。エレベーターはあるけれど、すぐに入れるので…。
- ・1階に集約→デメリットが思い浮かばないので良いと思いました。
- ・1階全体を図書館にしたらいい。

2階の利用も考えては

- ・スペース集約は特に問題はない。松山でも砥部でも大体同じだから。でも必要なら2階にスペースを作ってもOK。 ・2階の方が良い。
- ・エレベーターの利用があるので、2階の静かな空間で図書館利用が良い。落ち着ける。
- ・落ち着いて新聞を読めるコーナーが出来るのは良い。家でとっていない他紙をゆっくり読みたい。

落ち着いた図書館にしたい

- ・2階から他の人に見られると不安感がないか。
- ・周りの景色が見えずぎると落ち着かない（動くもの）。
- ・もし縁側まで図書館機能を拡大するなら、他の多くの人が話す声をどこでコントロールするかを考える必要あり。オープンな音の侵入を許すことを覚悟しなければならないのではないかな。
- ・子どもと大人と一緒に階で、仕切って使い、静かな空間をつくる。

必要な部屋、設備を確保し、使いやすい空間に

- ・空間については、2階の公民館と一体化した資料室とか、倉庫といった利用にすることが良いのでは。図書館は寄贈図書、公民館に各イベントの道具等？
- ・乳幼児の部屋は畳の部屋にする。その近くにお年寄りの部屋を設ける。
- ・利用者の専門的な調査研究のための部屋を多く（最低でも3～4室）ほしい。
- ・ビデオコーナーを設置してほしい。
- ・障がい者の方々専用のスペース。もう検討していると思いますが、障がい者の方々がかかることが前提で。
- ・水飲み場があるとうれしいなって。若い人はあまりお金がないんです…。
- ・子どもスペースでの子どもギャラリー（絵）が出来るスペースがあると良いかも…。

- ・読み聞かせができる部屋があれば良い。
- ・子ども、高齢者の方に障害のない空間に。
- ・赤ちゃんからお年寄りまで、障がい者も使えるゆったりした空間
- ・ゆったりした空間にはなっていると思う。

■出されたポストイット【運営面】……………

使いやすい図書館に

- ・図書館の運営は民間に任せるのがよい。オープンの時間を自由に設定でき、必要な時、必要な人を雇用できる。公務員はこれには不適と思われる。
- ・開館時間を19時とか20時とか、長くしてほしい。
- ・図書館の夜間利用。週1～2回、夜間の利用は望めないか。
- ・現在の図書館には乳幼児用の絵本が少ない為、増やしてほしい。
- ・マンガ本もあると良い。アニメも。小説もほしい。
- ・新刊書、ベストセラー本を多く置いて貰って、早く読めるようにしてほしい。
- ・雑誌（歴史書等）、政府、自治体発行の刊行物（白書等）を望みます。
- ・文化財の展示について、小規模でも良いから頻度を短くしてもらいたい。
- ・図書館空間では私語は慎むことが約束事。マニュアルはつくるのか。
- ・ビデオはNHKで放送されたものを貸し出し願う。
- ・対面朗読があると視覚障がい者の方々に便利。
- ・読み聞かせ、朗読会等のイベントを考えてほしい。
- ・年に2～3度、調査を行うと良い（施設についての）。
- ・音楽を流してはどうか（静かなBGM）。

人の配置

- ・司書を職員として2～3人は常時置いて欲しい。
- ・言葉かけも配慮のできる職員を設定してほしい。
- ・運営については市管理にして司書を置いて運営する。

その他

- ・現在の図書館では照度の問題が多くあるので、空間については照度の為、電気代が多くいるのでは。
- ・学生にとって実際、一番役に立っているのは机と静かな空間であり、蔵書は二の次（自分の持っている本で間に合っている）。本を購入するのは高くつくが、机と空間は初期投資のみでほぼ代々使える。
- ・図書館づくりにもまちづくりにも、これというコンセプトを決める必要がある。本庁地区の「うり」、看板が必要

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①児童の来所を増加させると共に図書館としての静けさを！
- ②閲覧座席の適正化と中高生の学習スペースの確保
- ③貸出システムが容易に、早くできるように！
- ④児童が利用しやすい机と椅子を！

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①図書館のみでなく文化発信（読書友の会他）の機能を持たせる。
- ②市民ボランティアを含めた運営組織を！！
- ③利用時間の延長と休館日の減少（民営化！）
- ④検索が容易にできるPCの利用
- ⑤他の市町村の図書館の優れている事の勉強を！！



■出されたポストイット【空間面】……………

1階は図書館に

- ・1階を図書館にするのは賛成。全館のセキュリティの面からも良い。
- ・図書館を1階に集約することで、管理スペースが1カ所で済むので、効率的である。
- ・1階→◎
- ・基本的には設計案で良いと思う。
- ・子どもの通学路を考えると1階の方がいいのでは。

子ども図書館と一般の図書館のすみ分け

- ・子ども図書館と大人図書館は完全に分離せよ。
- ・子どもと一般のスペースを分けた方が、音が気にならないので良い。
- ・落ち着いて本を読む空間づくりが必要！
- ・空間が共有のため、ざわつくのではないかとホールへの通路の人通り
- ・子どもスペースを作ると、利用する子どもさんが窮屈に感じるのではないかと。
- ・保育園児の音が（全て）騒音と考えるのは変
- ・子どもでも仕切っている部屋（端っこ）を探そう！
- ・子どもエリアに入りにくいのは困る。

使いやすい図書館に

- ・在庫している本や自分の借りたい本が直ぐに分かるように図書館専用のパソコンを設けると良いと思う。
- ・中高生の学習室が必要では？
- ・ある程度の間仕切り、パーティションでも。読む人と借りる人の違いを！
- ・カウンターが共有スペース→ホール利用とごちゃごちゃしないか。
- ・閲覧席100席は少ないのでは…？東温館は100席あまりだが少ないので。
- ・科学教室などをするスペースは？

■出されたポストイット【運営面】……………

市民に使いやすい図書館運営

- ・利用時間を考えて欲しい。公務員時間にはしないで！
- ・民営？公営？サービスの向上
- ・休館日も必要
- ・休館日数を少なく。
- ・双海、中山でも借りやすいように。どう連携？
- ・県内蔵書貸出サービスは必須！

アイデア、要望

- ・読書友の会を運営せよ（現在、ダンテの「神曲」の読書会があるのは知っている。）
- ・書籍毎の回転率を測定すること。一人か二人しか読まない本は購入するな。
- ・市民の所有する本を寄贈してもらおうコーナーを設けよ。話題の本は多くの人が買っている。
- ・貸し出し禁止図書が多いように思います（何か工夫を！）。
- ・コピーサービスの便宜をよく。
- ・古文書の読み方教室など、年齢層を低くして教えて欲しいです。
- ・読書家向けか、一見の客となるか？
- ・図書館は一読者の為か、集客の為か？リピーターとして。
- ・いよカフェへの本の持ち込みのある程度の決まりが必要、必要
- ・音楽の流れる図書館は。
- ・絶対喫煙じゃないとダメ！！
- ・他の市町村の図書館の優れている事の勉強をしっかりと。



計画の方針（図書館について）

1. 図書館は1階に配置する。

2. 閲覧席をなるべく多くする。

- ・「ここから先が図書館」という区切りをなくすことで、より開かれた図書館に広げていくのではないかと。より検討を進めていきたい。

3. トイレの配置を考慮する。

4. 運営については十分な検討が必要

- ・開館時間を長く、休館日を少なくというような運営については、今後の検討課題
- ・「文化の発信」として、どういう本を揃えるかというのは、かなり重要な問題。特色ある図書館にしていくためにはどうするのかも、運営の中で十分考えなければならない。



設計の安田さん

1. 設計者に検討して欲しい項目〔空間面〕

- ①利用者も多く、多様なので1階に集約する。
- ②子どもと大人のエリアをどう区分していくかが課題。子ども用の机と椅子を配置することでも区分けはできるのでは。
- ③学習コーナーを2階にするのは良い。
- ④資料庫などの倉庫が少ない。
- ⑤伊予市らしい、特色のある図書館に。



2. 伊予市に検討して欲しい項目〔運営面〕

- ①開館時間や休館日の検討
- ②民間による融通の利く使い方（例：センター試験時には勉強室を設置する。）
- ③静かなBGMをかけ、それ以上の声で話さないよう、心理的に誘導する。

■出されたポストイット〔空間面〕……………

図書館は1階にまとめる

- ・ワンフロアは良い。 ・ 図書館1階はOK。
- ・ 1回に集約は賛成 ・ 1階に図書館で良い。
- ・ 図書館スペースを1回に集約する案に賛成！
- ・ 高齢者の方々の利用が多いと思われる（特に平日）ので、利便性として1階の設置がいいと思います。
- ・ 図書館を2階に分けると、高齢の方や子どもも行くのが大変になったり坂にするとかなりの長さになってしまうので1階にまとめるというのは賛成します。

子どもも大人も心地よい空間に

- ・ 子ども用、一般用をそれぞれゆるやかにつながると良い。北向きはOK。
- ・ 子ども用のスペースと一般のスペースが一緒なのはいいが、子どもにのびのび利用できるスペースにしてほしい。
- ・ 子どもスペースについて、今の図書館のようなボンヤリした分け方がいい。あまりはっきり区別しないこと。
- ・ 一人静かに本を読みたい人のためのコーナーを別に作る。
- ・ 子ども図書館にはよく景色が見えるところに窓をおいて、本を読むのに使ったり、息抜きもできるような所をつくってもらえば、心地よく本が読めると思います。
- ・ 子どもスペースと一般スペースの分けはどうする？
- ・ 小さな机と椅子にすれば、自然に子ども用になる。
- ・ 子どもさんのスペースを区分（読み聞かせ）
- ・ 読み聞かせの場をブースとして（ガラス張り）設けられないか。
- ・ 家族と一緒に来る子ども達もいると思うので、家で本を読んでいるような、ゆっくりした広いスペースを設けられたいと思います。
- ・ 学習スペースが別は良い。
- ・ 書架スペースと学習コーナーを分けるのはGood！
- ・ 学習スペースは子どもと大人とそれぞれに設置するのか。
- ・ 本の近くにテーブルなどを置いて、子どもが勉強しながらそのことについての本も見られるスペースがあれば、集中して取り組めると思います。
- ・ 中高生の学習スペースを、空いてる部屋なども使っているのでは？

書庫や倉庫のスペースが少ない、要検討

- ・ 書架、資料庫が少ないのでは？
- ・ 書庫が狭い感じがしますが大丈夫ですか？
- ・ 文化財資料の収蔵点数がH23年→H25年で約1万点程増えている状況から、収納スペースを拡張しておく必要があるのでは？
- ・ 体育倉庫を1階に構えること。
- ・ 図書館機能と文化財収集、展示の共生はかなり工夫を要する。スペース的に難しいのではないかな。

- ・ 歴史資料室のスペース（収蔵、整理、調査）をどうするか。図書館に結びつけるもの。企画展示は別の施設（新庁舎）も考える。旧広島銀行跡

その他

- ・ 特に子ども図書館の内装は自然の材料、木材を多く。伊予市内の木材を使用したらいいのでは。

■出されたポストイット〔運営面〕……………

使いやすい図書館づくりの検討

- ・ 民間の感覚で融通の利く運営を（学習スペース、BGM）。
- ・ 開館時間、開館日など、利用されやすい運営
- ・ 夜9時頃まで利用できる図書館が理想
- ・ 夜間利用ができるようにする。少なくとも22:00位まで。
- ・ 図書館が祝日に閉まっているのはさみしい。
- ・ 返却は郡中駅とか伊予市駅に返却ボックスを設置する。
- ・ シャトルバス利用（駐車台数が少ない!!）
- ・ 子ども図書館に「みんくる」の機能を。親が兄弟を通わせてくる場合、下の子は遊びたい。
- ・ 子どもが楽しく読める絵本やマンガがあれば行きやすい。
- ・ 子ども図書館は年齢制限をするのか。
- ・ コンピューターの設置を増やす（館内でのipadの貸出サービスを行う。）。
- ・ 禁止は禁止。おしゃべり、飲食、スキップOK、ルーズな図書館
- ・ 図書館にBGMを流してもいいのでは？

マンパワーの充実

- ・ 文化財等の保護のためにも学芸員の増員が必要
- ・ コンピューター難民(年配者など)のための指導や、子どもの情報リテラシー※5 p7欄外の教育のための体制を。
- ・ 運営管理費や時間延長のためにも、市民協働が必要

伊予市らしい図書館づくり

- ・ 蔵書の選択については近隣の図書館を調査し、伊予市らしい特徴ある蔵書としたい。
- ・ 図書館を創造の場として捉えると、伊予市のアイデンティティを掘り起こしていくに必要な場として欲しい。
- ・ 伊予市らしい図書館に。

他施設、他地域との連携

- ・ 図書館サービス。中山、双海との関連を工夫してほしい。
- ・ まちを使って図書館に。施設図書館との連携→アプリで連携、案内
- ・ 老人、子ども、福祉、教育施設へ、図書が出ていくシステムはできないか。
- ・ 伊予市らしい図書館。歴史、文化の研究コーナーを充実させ、ホール、公民館の活動と関連性を持つように。
- ・ 展示コーナーは定期的に内容を変える(変化が必要)。

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①図書館は1階に集約する。
- ②子どもが靴を脱いで付ける場所を設置する。
- ③子どもや高齢者のためにトイレは近いところにつくる。

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①マナーを守りやすく。
- ②専門用語をあまり使わないように。
- ③利用者の交流
- ④貸出時間の延長、夜間利用を可能にしながらもお金のかからない運営を。
- ⑤レンタルビデオの貸し出し
- ⑥ボランティア的な人の活用
- ⑦P Cの台数を増やす。
- ⑧携帯電話やスマホのマナーを徹底
- ⑨図書館の防犯対策



■出されたポストイット【空間面】……………

1階に集約するのが良い

- ・1階賛成！
- ・1階に集約することに賛成!!
- ・前は欠席。良い意見が多く共感しました。1階の図書館はありがたいです（今と比べ。）。
- ・1階のワンフロアはいいですね。タイムシェアリング^{※6}をすれば、一般、子どもの調整は可能
- ・1階に集約することは賛成だが、将来の冊数増についても要検討

誰もが利用しやすい図書館に

- ・子ども図書館の部分と一般の部分とを区別することの良さと、フレキシブル^{※7}でないことの問題をどうするか？
- ・時間帯によって利用者が違うので、時間に合わせて大人と子どものスペースを広げたりして調整してみたい人は？
- ・託児ルームがあるといいな。
- ・保育園ではない、帰宅時間の早い幼稚園児のママの集まりやすい空間。
- ・子どもスペースには靴を脱いで利用できるカーペットの部分。読み聞かせもできるように。
- ・授乳コーナーはどうする？
- ・小さな子ども連れの場合と、一人でゆっくり過ごしたい人との空間分け。
- ・子ども図書館の近くにWCがあった方がいいと思う。
- ・高齢者、主婦が出入りしやすいように。
- ・照明を考える。
- ・年寄りの利用を考えて、照明が明るい部分（席）を作る。
- ・マナーが守りやすい空間であって欲しい。
- ・外から図書館で行うイベント等がよく見えるようにしたら楽しいと思う。

その他

- ・歴史資料室について、図書館と併設するものと、「歴史資料館（まちなみ）」との関係を考えること。
- ・開架^{※8}、ホワイエ^{※9}とか、専門用語ではなくわかり易い言葉で。
- ・基本設計の床面積について、余裕があるのか。また無理が出て来るのか。

今日の説明の中に、文化財資料についての説明が全くなかったの、次に是非お願いしたい。

■出されたポストイット【運営面】……………

交流の場として

- ・図書館利用者同士の交流を図る。調べ学習の時、その道の知識ある先輩の意見を聞く機会もつくってほしい!!
- ・まちの団体、グループの活動の情報提供、交流コーナー。掲示板をつくらう。

使いやすい図書館づくりの検討

- ・貸し出し、返却がスムーズにできるシステムを!!夜間返却OKにして。
- ・貸出時間が長い分類も増やして欲しい。
- ・開館日の増と、時間の延長を考えて欲しい。
- ・市の財政を考え、金のかからない運営を。
- ・レンタルDVDを多くして欲しい。
- ・ヤングアダルトコーナー
- ・貸し出し状況や本の場所などをデジタルデータ化し管理する。
- ・館内のP Cの台数や利用方法は？
- ・貸し出しのチェックで、本のカバーによって通過できない現状が。今後、対応して下さい。
- ・幼児へのブックスタート^{※10}セットの貸し出しサービスを行う。
- ・T C T^{※11}、インターネットの活用（国会図書館、大学、図書館ネットワーク）。

マンパワーの充実

- ・専門職でなく、ボランティア的な人の雇用を望む。
- ・専門の司書がいてもいいのでは。
- ・若い人の力が大である。
- ・レファレンスサービス^{※12}のカウンターをどこに置きますか（人的配置）？
- ・図書館に博物館の機能を持たせるならば、専門家が必要
- ・運営に中高生を参加させる。

防犯対策

- ・防犯大事!!過去に図書館で痴漢に遭った女子大生を知っている。
- ・図書館とカフェを連携して運営する際に起こり得る問題の対処をどうするのか。
- ・スタッフの目が行き届かない端のスペース

情報の発信

- ・歴史資料、文化財などの地域情報、映像のデータ収集、記録保存、情報発信コーナー
- ・「まちじゅう図書館」のネットワークづくり。学校、児童館、地域（双海、中山、旧伊予）
- ・携帯やスマートフォンの館内利用禁止

〈2グループ〉

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①500席に拡大して欲しい。
- ②椅子を広く、見やすく。
- ③楽器（ピアノ、ギター）の練習場
- ④映画の上映ができるように。
- ⑤飲み食いができる、娯楽場が欲しい。

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①地方アイドルの発信地として。
- ②写真を通して伊予らしさの発信に繋がるように。
- ③使用料は維持管理、公民館施設とのすみ分け等、検討して欲しい。
- ④使用対象は市民限定か？文化祭等の発表は利用可能か？
- ⑤運営のアイデアは市民から。



■出されたポストイット[空間面]……………

座席について

- ・ 500人は必要
- ・ 文化ホールはせめて500人くらい入れる様にして下さい。
- ・ 座席数は最低500席。市の内外から人が集まる事は、文化向上になると思う。
- ・ 利用人数。旧市民会館位の席数がほしい（松前、松山まで行かないで地元を盛り上げるため。）。
- ・ 大人数の人が利用するには、400席にとどまらず、500席ほど設けると良いと思う。
- ・ 400～500。
- ・ 椅子は広く。
- ・ 座席の幅、高さを現状より拡大してほしい。

いろいろな使い方ができるように

- ・ 例えば結婚式とか、いろんな使い方ができるというのでは？
- ・ 市民もプロも使えるといいな。
- ・ 映画が放映できる施設を作してほしい。
- ・ 楽器（ピアノ、ギター）が練習できるような空間があると良い（学生）。
- ・ 音響の良いホールに。
- ・ 音響を良くしてください。

■出されたポストイット[運営面]……………

運営について

- ・ 運営に民間が入ってもいいのでは？
- ・ 運営は民間に委託する。運営委員会がしっかりしておれば大丈夫。
- ・ 少人数でも使用できる方法。安く。
- ・ 使用料を安くして下さい。
- ・ 使用対象は市民限定か？文化祭の発表程度に利用か？

ホール利用のアイデア

- ・ 地元のアイドルのライブ等を行い、県外の人参加も目指すと良いと思う。
- ・ 市外からの人も参加するようなイベントをする（地方の人のお笑いライブやコンサート）。
- ・ 写真の作品展示を年に1、2回する。
- ・ 350～400席ではプロの催しは難しいのではないかな。年間使用回数をより多くする施設に。

その他

- ・ 地元で文化にふれる場をつくってほしい。
- ・ 郡中地区公民館施設との重複は避ける。
- ・ 喫煙ルームと禁煙ルームを設けて、分煙をする。完璧にタバコを吸うことを禁止するのは良くないので。

「大は小を兼ねる」と昔の人が言っている。

費用的にも100席、200席増やしても変わらないと思う。

人の多く集まる成人式やファミリーコンサートは今、しおさいの体育館で行っている。年に一度、必ず行われる大きな事業に対応出来るようなホールにしてほしい。伊予市の事業を松山や松前でやるのか？伊予市の人のために行うのだから、500席ぐらいの集客が出来るホールが必要だと思う。



会場から、座席数についてのご意見をいただきました

文化ホールは伊予市の文化の発信地にならないといけないと思う。郡中だけでなく松前、砥部の人にも来てもらえる施設にするべき。使いやすいというのも分かるが、大は小を兼ねる、ある程度大きな物が必要だと思った。

※11 TCT…target cycle time。目標サイクル時間。製品一個を加工するために必要な時間で、月間稼働率÷月間生産量×稼働率の算式で求める。生産ラインの設計時などに使用する。

※12 レファレンスサービス…図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのもの、あるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①座席は300～400が適当。座席の空間はゆったり（質の良いシート）。弱者への配慮。カップル席など、ユニークなもの。
- ②ステージについて、映画のスクリーンが必要。音響が良いこと。舞台へは最低60人程度。楽屋裏の左右の移動がスムーズにできるように。
- ③観客や聴衆とステージの一体感が感じられる設計を！
- ④他の施設との音の遮断
- ⑤トイレの数は大丈夫か。

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①維持管理の経費的負担の検討は充分に。
- ②市民専門家とともに担い手づくり（友の会）。支援方法を考慮して下さい。
- ③ホール運営に情熱のある職員を配置して下さい。
- ④小回りのきくイベントの実施。小・中・幼稚園・保育園の発表会
- ⑤駐車場については充分に。公共交通とのアクセスの訴求は。

■出されたポストイット[空間面]……………

座席について

- ・300～400のホールで伊予市にふさわしい。松山圏域の中でも特色が出せる。市民利用も（練習、発表）しやすい。
- ・収容人数400人でOK。
- ・客席は350～400が適当
- ・ゆとりを考えれば350～400で良いと思う。
- ・親子席、いいアイデアと感じた。或いはカップル席など、ユニークな配置は。
- ・ゆったりした空間
- ・座席の空間を広くとる。
- ・座席の質も高くしてほしい。
- ・視聴覚障がい者の特別席を。
- ・舞台に応じた客席の数

トイレについての心配

- ・縁側モール側の人はトイレまでの距離が長い。
- ・満席となった場合、トイレの設置が少ないのでは。

ホールの作り方

- ・ステージと客席に一体感が感じられる。
- ・観客と出演者が交流できる場とするなら、客席から舞台へ、舞台から客席への動きがスムーズになるようにする。
- ・両袖、楽屋裏の移動がスムーズにできるように。
- ・座席を円形扇型にして、均等に観客の聴覚（視覚）に舞台の様子が捉えられるように。
- ・演者と観客が一体感の持てるホールの型
- ・ステージ収容人数は60人程度乗れる広さはほしい。
- ・小さくても質の高いホールを。
- ・音響の良いホールにしてほしい（スバルホールはすばらしい）。
- ・図書室も同階にあるので、防音設備は完全なものに。
- ・映画（名画）の鑑賞会を。

誰もが使いやすいホール

- ・今後老人が増えるので、館内の主要な所にスロープをつけて移動しやすくしたらいいと思います。
- ・市内でのピアノなどの発表会とか演奏会がこのホールで気楽にできるようにしてほしいです。
- ・中学校、小学校、幼稚園、保育所の発表会等にも利用してほしい。



■出されたポストイット[運営面]……………

どう利用するのかを検討することが必要

- ・外部から演出者を呼ぶようなイベントは近隣のセンターに任せるとして、このセンターで是非したい催し物とは何か。発想の転換が必要
- ・前の大ホールが606席で稼働率が10%前後。今回、350～400席。小回りのきくイベントの活用を期待したい。
- ・文化ホールが地域交流の拠点となる施設に。
- ・市民の芸能、音楽、演劇などの鑑賞だけでなく、参加、交流、創造などの活動ができるホール。鑑賞型だと他市と同じ。
- ・敷地や予算に限りがあり、全ての市民の夢や希望を叶えることに限界がある。利用効率又は必要性の低い施設は、最小限の施設とすべきである。文化ホールは毎日利用するものではないから。
- ・日常的な活動スペースを拡大して、果たしてその利用は何%位になるのか。計算されているのか。
- ・コンサートだけでなく、ロビーなどで企画展示などもできるように。
- ・作ったのは良いが、赤字ばかりにならないようにしたいが…。

運営について

- ・「貸し館型」から脱却すること。そのためには年間事業計画（市民の活動、学校の活動）を含めて、管理運営についても市民、専門家と共に担い手づくりを。
- ・支援組織（友の会、サポーター）を。
- ・他の所では友の会等があるようですが、ご存知の方、教えてください。
- ・維持管理運営がやりやすいように。節電、稼働しやすく。
- ・使用手続きを明確に。規約を。料金を市民に告知する（広報）。
- ・現代の「寿楽座」として、コミュニティのための「娯楽（交流）の殿堂を」。
- ・ホール運営に情熱のある職員さんを配置して下さい（研修等されて）。
- ・夢の様な施設だけれど、予算は大丈夫か。維持費は大丈夫か。

駐車場について

- ・駐車場スペースが少ないので、文化ホールを利用するときは梢川の埋め立て地を臨時駐車場として整備し、ホールの使用がない時は施錠する。
- ・公共交通で駐車場問題を。

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①規模は300～400人で妥当
- ②障がい者に対する配慮
- ③座席（幅、肘掛け、前との空、高さ）
- ④音響設備を整える（演劇、音楽）。

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①民営化する。市民運営
- ②先発のホールの良い点を生かす。



■出されたポストイット【空間面】……………

規模は妥当

- ・350～400席で1席の空間は広い方がよい。
- ・350名収容のホールだと、どの席からも舞台が見やすくして良いと思う。
- ・350～400席で良いと思う。
- ・350～400人収容というのは妥当
- ・大きさは300～400席で充分
- ・伊予市の規模にあった妥当な収容人数だと思う。
- ・市民中心の文化ホールでよい。300～400人
- ・氷川きよしを呼んでくるのは松山に任せる。すみ分け
- ・小さくても高島ちさ子が来てくれるホール

500席はほしい

- ・せめて500席は欲しい。

障がい者に対する配慮

- ・障がい者に優しいものに。
- ・障がい者の方や車イスの方にも利用しやすい。特に車イスの方の場所をつくって欲しい。
- ・車イスの人でも利用できるように考えてほしい。

見やすく、ゆったりとした椅子の配置

- ・前の座席に座る人が大きいと見えにくい。前の席との床の高さが気になる。何cmぐらい差があるか。その場合、通路の段差もしくは傾斜等、弱者に配慮する。
- ・前の席の人の頭が気にならないスロープを。
- ・座席と座席の間を広くしてほしい。
- ・隣人を気にしないでいいゆったりとしたシートスペース
- ・座席の肘掛けは両方に必要
- ・座席数はそのままに、席一つ一つの空間を広くする。
- ・立ち見のスペースも必要と思う！

設備について

- ・複数人数の音が同時に拾えるマイク、ピンマイク等々
- ・音楽専門ホール
- ・演劇ができる舞台装置
- ・音響設備の整ったホール
- ・舞台はやっぱり全体的に広く。
- ・舞台と客席の近いホール
- ・近くに水飲み場を作るといい。
- ・夏の暑いときは涼しく、冬の寒いときは暖かくできる工夫がいい。
- ・鏡のついた部屋（ロッカーも。）
- ・子ども達の利用のしやすさも考えてほしい。

■出されたポストイット【運営面】……………

民営化、市民運営

- ・民営化、市民による運営
- ・運営は民営も良い。
- ・運営の長は民間の営業部長の考え方で行う。
- ・人口減少で運営には相当、市の財政を考えるべきだ。
- ・市民参加。出演する人も市民、運営する人も市民

先発の事例に学ぶ

- ・本市は後発なので、先発の地域の良い点、悪い点を教えてもらって取捨選択する。よりよい運営方法に活かす。
- ・松前の文化ホールが理想（付属施設も。）
- ・後からつくる利点を活かして、同じようにならない施設を！



計画の方針（文化ホールについて）

1. ホールの席数については保留⇒次回再検討

- ・席数を増やし、椅子も大きく、前後の間隔も広くすると空間が大きくなり、他施設にも影響が出る。もう一度検討し、次回再議論する。
- ・椅子の幅500mm以上で検討する。

2. どういう目的のホールとするか。

- ・プロのクラシックのコンサートではN C値^{※13}が15以下でないと無理。市民ユースに特化するなどの考え方もあるのではないかな。

3. 映画の上映のできるホール

4. 運営上で検討すべきこと。

- ・飲食の可能なホール（保健所等の調整、条例）

※13 N C値…室の静けさを現す指標

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①地域の人が使いやすい350～400はGood！（大きいホールは松前、松山に。）
- ②演技が立体的に見えるアリーナ^{※14}式が良いのでは。平土間^{※15}形式であっても良い（自分も参加しているような空間）。
- ③座席が可動式。映画館のちょっといい席ぐらいが良い!!バリアフリーについての席設置は？
- ④飲食可能を希望。あまり約束事にしばられない空間

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①館長公募（全国公募）、民間運営、利用者参加型運営
- ②スペシャル感（他の施設との差別化）。よいものを用意して欲しい。
- ③利用料金を下げる。



■出されたポストイット【空間面】……………

妥当な席数

- ・地元の人が使いやすく、周囲にない350～400席はGood！
- ・400で充分 ・伊予市に適度でいいんじゃないか。
- ・あまり大きなホールよりは、提案の大きさが理想
- ・大きいホールは松前、松山にまかせる。
- ・一般人が気軽にミニ発表会ができる場

もう少し大きく、もう少し小さく

- ・今までの利用人数から考えて、350～400はハンパ（不足？）ではないか。
- ・座席数400～450人はほしい。
- ・人数は500～600人の集客が良いのではないかな？
- ・座席数は伊予市を考えると小ホール的でもいいのでは。

舞台の作り方

- ・演出家が腕まくりするホール
- ・プロセニウムよりアリーナ。一般市民参加型
- ・演技が立体的に見えるアリーナ式
- ・ホールという名前はステージと折り畳み椅子のイメージがあるが、演目を整理した上で平土間形式であってもよい。
- ・自分達も参加しているような空間づくり。
- ・若い人達が集まれるホール
- ・そもそもよそ行きの非日常空間ではなく、日常活動の延長上にある施設でありたい。市民文化村
- ・クラシックコンサートも開催して欲しい!舞台が小さい!?
- ・音響設備の充実を！

席の作り方

- ・座席は動かして、広い空間が使える方がよい。
- ・ステージの一部を可動式にし、席数変更
- ・折り畳みの固定椅子では演目の制限がないか。ステージと客席の関係を話し合いたい。
- ・バリアフリーについての席設置は。
- ・客席に車イスは入れるのか。
- ・つくるなら、映画館のちょっと良い席くらいに（シート）。
- ・座席はゆったりと、高齢者、身障者に充分配慮
- ・障がい者専用の入り口や席があると入りやすく、よりたくさんの人に文化ホールに来てもらえると思います。

その他

- ・舞台の劇などが始まる前の待つ時間を過ごす広いフロアなどをおくと、高齢者の方も時間をゆっくり過ごせると思います。

- ・300席以上にすると駐車場を3階建てに！150台以上。
- ・トイレの数をなるべく多く（女性用）。
- ・たくさんの人が出入りしやすいように、ドアは押しドアなどではなくスライドの形にしたら、事故もなく通れるように思います。

■出されたポストイット【運営面】……………

周囲との関係

- ・郵便局から入る道を廃道にして、渋滞しない道作りを考えてほしい。
- ・電車の音には寛容になろう。
- ・電車が見える図書館、電車の音が洩れるホール

自由に使えるホール、使いたくなるホール

- ・あまり約束事ばかりにしばられない空間がいい。
- ・飲食可能も希望（床掃除がしやすいetc.工夫を！）
- ・手軽に使える利用料金。学生がダンスやバンドの発表ができるような。
- ・時間もフリーにして、使い方を利用者優先に考えてね。
- ・子ども達に多く使って欲しい。
- ・地域の子らのアート学習の場になってほしい。
- ・スタインウェイやベーゼンドルフィ^{※16}などを設置して、小さくとも使いたくなるホールに。

運営について

- ・稼働率がすごく低いので、利用料を他の市などより安くしてはどうか。
- ・ホールの運営だけでなく、サークルを育てることもしてはどうか？
- ・ホールは図書館の附属施設という一体運営
- ・希望すればやってもらえるという雰囲気あり。自分達で…と徹底すること。
- ・本物の芸術を鑑賞するチャンスを与えたい。
- ・ホールの一番の目的を、次世代を育てることを第一義として欲しい。
- ・割引料金を弱者に設定し、文化が人を育てるように。
- ・使用料を低く抑えることで利用率を上げる。その為に運営ボランティアを育成する。

本当に必要なのか、検討が必要では

- ・大きいものをつくって、税金を子ども達に押しつけない。
- ・10%の稼働率…、ウェルピアで足りる？思い切ってなくすのは？
- ・行ったこと（長年）ない人が多数。必要なの??
- ・どういう時に使われるのか、見ていない（行ったこともないし）。まわりも行ったことのない人ばかり。

※14 アリーナ…スタンド（傾斜がある階段状の観客席）に全周または、ほぼ全周を囲まれた、闘技場・競技場・劇場などの施設

※15 平土間…歌舞伎劇場で、1階正面の枡（ます）で仕切られた観客席

※16 スタインウェイやベーゼンドルフィ…世界のピアノメーカーの御三家。ベヒシュタイン、ベーゼンドルファー、スタインウェイ

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①大会議室は成るべく広く（多目的室にも140名くらい入れる。）。
- ②防音装置の充実
- ③トイレを増やして欲しい。
- ④個人ロッカーの準備
- ⑤公民館を1階に（利用率高）。

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①文化祭の今後（作品展はどこで？）
- ②約束事等を知らせてほしい。
- ③運営は同じ施設内でつながるようにする（一元化）。



■出されたポストイット[空間面]……………

各部屋の作り方

- ・公民館はいろいろな人が使うから1階が良い。
- ・公民館は多くの年代が利用するので、1階からすぐ入れる様に。
- ・各部屋の仕様については、利用者の意見によく耳を傾けてほしい。
- ・大会議室はなるべく広く取って下さい。
- ・防音装置に気を遣う。
- ・個別練習室のような遮音室を2～3室ほしい（防音装置）。
- ・「よどみ^{※17}」って具体的にどういうこと？
- ・WCが奥に1つしかない。もう1つくらいあった方が…。
- ・登録しているグループにはロッカーを用意するとか、公私の区別をしよう。
- ・全部ガラス張りだと外部から見られると、料理等落ち着かない（慣れるといいのかな？）。柄を付ける!!



出された意見を一つ一つ確認しながら、グループで意見をまとめていきました。

■出されたポストイット[運営面]……………

多目的室の使い方について検討が必要

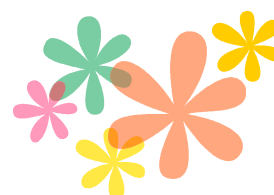
- ・バレーやバスケットは体育館へ。ダンス、舞踏etc.アートへの開放
- ・郡中地区の活動→複合文化施設の活動→特定の人だけの利用でない使い方
- ・"敬老の家"の事業ができるスペースが必要（飲食ができる。）
- ・多目的室には140名位が会を開けるように。
- ・多目的室は運動の利用、その他の有効利用と、時間的、割り振りをしては。
- ・時間的分け
- ・時間帯を広げよう。
- ・利用率向上のため、時間帯を考え、時間配分をしたらよい。

利用のアイデアについて

- ・「絵画・陶芸教室」その道の上達者を招いて、一般の人が学べるようなイベントにすると良い。
- ・「調理室」月1回などに定期的に料理の講習会を開くと良いと思う。
- ・公民館の枠から離れて、図書やアート関係の使用もできるように柔軟に。
- ・多目的スペースで格安で、バスケットボールや卓球などのスポーツができると良い（学生に優しい!!）。

その他

- ・郡中地区公民館と中央公民館との区別がよくわかりません。新しい公民館ができるまでは活動はどうしたら良いか、心配です。
- ・文化祭は今後、どうなりますか。
- ・美術部門の作品展はどこでできますか（年2,3回ほど。）？
- ・役所の中に市民活動を支援する部署をつくる。
- ・イベント情報のアピールに力を入れてほしい。
- ・運営は同じ施設内でつながるよう、一元化を願う。



※17 よどみ…人がたまることのできる空間。予約なしに誰でも気軽に集まることができる場所

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①バリアフリーにして欲しい。
- ②会議室を多く。多目的室をどう使うのか？
- ③部屋の中に手洗いスペースがあれば？
- ④飲食可能な部屋が欲しい。

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①気軽に利用できる公民館に。
- ②運営を民間に委託しては？土日も開けて。
- ③コピー等の使用料の見直しを。



■出されたポストイット【空間面】……………

各部屋の作り方

- ・多目的室でなく、体育館としてバレーボール2コート分がある。
- ・多目的室を分割利用ができるように。2～3分割
- ・公民館施設利用稼働率を見て、パーティション区切りなど、応用できるような仕組みはいいか。
- ・部屋の中に手洗いスペース（水コーナー）があるといい。
- ・ステージ（可動式可）が必要
- ・会議室を多く。・小会議室が必要ではないか？
- ・公民館事業が多いので、会議は人数等も考えながら1～5室、必要だと思う。
- ・少人数での集会在容易に開催できるように（予約不要。空いていれば可）。

他施設も合わせて使い方を検討する

- ・大会議室は文化ホールと共用すれば良い。
- ・障害者の人もどんどん参加できるよう、バリアフリーの充実を！
- ・他施設との関係を明確にする。ウェルピア、体育館、さざなみ館、福祉会館、創生館

■出されたポストイット【運営面】……………

運営について

- ・現在の会議室の稼働率が30%台は低い。稼働率を高くするには何が必要なのか？
- ・運営は民間に任せてほしい。準公務員の人間では融通が利かない。
- ・運営を天下りではなく天上がりに。民間の知恵を運営に。
- ・天下り的なスタッフの配置では良くならないことも多いのでは？

- ・運営は元学校の先生が館長なのは、時代に合わないのでは？土日、夜も利用しやすく！
- ・公民館事業と考え、公民館及び社会体育の職員が行えば良いのでは。
- ・スタッフの充実を（土日も）。

多世代の交流の場

- ・若い人達とお年寄りが一緒に遊べる、「お年寄りとお年寄りの会」のようなもの、昔のコマやけん玉、折り紙などを一緒にしたらよいかなと思います。
- ・もう少し、公民館も楽しい所とアピールできたらいいと思う。まだかたいイメージがあります…。
- ・「ミカンまる」パッチを参加者に配る！
- ・市民一人一人が講師になって、いろんな教室をしてはどうだろう？
- ・市民有識者を利用した講座の開設
- ・グループで集まって懇親を深めるための飲食ができるスペースを!!
- ・市民が幅広く文化、スポーツ、両方の教室に参加できるようにしてほしい（エアロビクスetc.）!

使いやすい施設の整備

- ・リソグラフ※18等の自由使用（紙は持ち込み）
- ・無料で利用できること。
- ・コピー機、印刷機が安い費用で使えるように。
- ・公民館でもここはおかたいイメージ。気軽に利用できる公民館を。
- ・飲食のできるスペースを（公民館まつり）!
- ・自販機（飲み物、食べ物）の充実を!

その他

- ・建設中の利用者の代替施設の料金を安く。
- ・僕は双海の方に住んでいるのだけど、今日、この配られた紙で初めて料理室などがあるのを知って、もう少し遠くの方まで存在を知らせてほしいと思います。



計画の方針（郡中地区（中央）公民館について）

1. 他施設の部屋も含めて活用する。

- ・楽屋を会議室として利用したり、防音対策を施したりハーサル室やスタジオをダンス等に利用するなど、他の施設を有効に活用できるようにしたい。
- ・大きな部屋を区切って使えるような配慮をする。
- ・そのように利用できれば、今の会議室よりも部屋数は増えると考えている。

2. 公民館らしい特色のある部屋

- ・水回りの充実した部屋を作るなど、いろんな活動に対応できるように考える。

3. 運営の一元化

- ・民間の運営、市民参加など、大きなテーマとして検討を進めていきたい。

4. 公民館は2階に配置する。

※18 リソグラフ…簡易印刷機。製版された原紙（マスター）をドラムに巻き付けて印刷する。コピー機感覚で操作でき、製版から印刷まで高速・低コストで行える。人がたまることのできる空間

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①音響設備、防音対策（大きな声の出せる部屋）
- ②バリアフリーの設計が基本
- ③無料の飲料コーナーをつくって!!
- ④10名前後の会議室を多くとって!
- ⑤展示パネルを常設した部屋（個展、グループ展）



2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①各サークルの資料収納のためのロッカー（ルーム）を設置
- ②予約以外でも空いていれば使用できないか（気軽、気軽に使えるようにしてほしい。）!
- ③退職者、高齢者をスタッフ（ボランティア）として有効活用!

■出されたポストイット【空間面】……………

各部屋の作り方

- ・バリアフリー設計は前提で。
- ・多目的ホールを子ども達の為に利用できる様にした（体操）。広さは?
- ・スポーツのできるような大きな空間がほしい。
- ・常設の展示スペースをつくる。書道、絵手紙、絵画他
- ・大きな声の出せる部屋。防音
- ・コーラス、詩吟等々、思い切り発声できるように防音装置を。
- ・防音対策を強めてほしい。
- ・簡単な音響設備の整ったレッスン室。鏡がある。
- ・壁一面、大きな鏡のついたレッスン室がほしい。
- ・10名前後の小会議室を多くつくって!
- ・サークルの資料を保管できるように（持ち運びができないものがある。）。
- ・各サークルの資料を保管できる場所がほしい。
- ・水飲み場を作って! 若者は金が無い!

■出されたポストイット【運営面】……………

使いやすい施設に

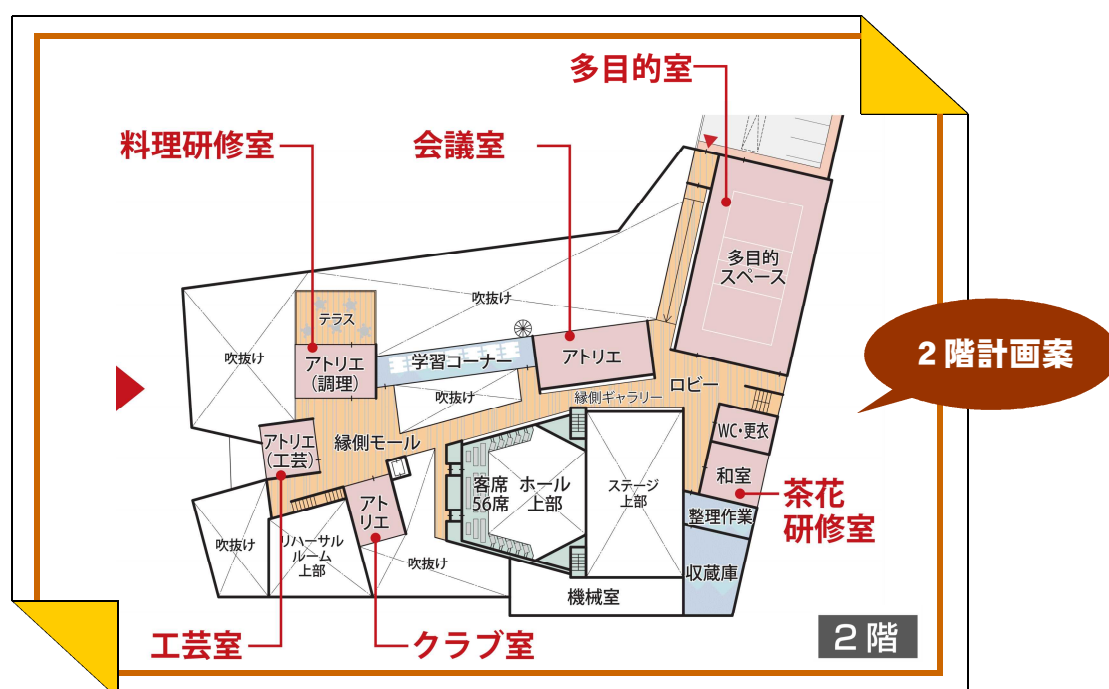
- ・使用料を取る場合と取らない場合があるが、できるだけ取らないようにしてほしい。
- ・公民館利用に関して利用者の負担金は増えないのか。
- ・気楽に利用できる施設であってほしい。
- ・なるべく手軽に使えるようにしてほしい。
- ・地域住民の交流の場に。
- ・いろいろな人と楽しめる体育館
- ・予約以外にその日に行っても、空いている部屋があれば貸し出してくれるようにしてほしい。

ボランティアの活用

- ・公民館を運営するには多くの職員では無理。多くのボランティアが必要だ。
- ・運営費が大変になるので、特技のある退職者はボランティアでどんどん発揮したらいいのでは。

利用のアイデア

- ・和室で書道教室を開いたり、料理研修室で料理教室をすると、利用者が多くなると思う。
- ・料理室はIH^{※19}にしてほしい。
- ・世代間が交流できる教室を開く。
- ・現在の大集会室は実質体育館である。体育施設は市内に多々ある。他の希望があれば、その空間は他に転用。例えば郵便局の窓口機能は是非必要



※19 IH…Induction Heating の略で、誘導加熱のこと。電磁調理器などの加熱原理

1. 設計者に検討して欲しい項目【空間面】

- ①会議室の使用人数の目安が分からない。
- ②倉庫は1階部分に設置する。
- ③作品展示ができるように。
- ④会議の時に他の部屋からの声が聞こえないような構造に。
- ⑤大震災時に活用出来る緊急貯水装置を設置する。

2. 伊予市に検討して欲しい項目【運営面】

- ①みんなが利用できる交流の場
- ②アトリエで美術、音楽、ダンス等のコラボを。
- ③多目的スペースをより広く活用できるように。
- ④ダンスの練習などができるよう、防音設備のある部屋を設置



■出されたポストイット【空間面】……………

各部屋の作り方

- ・床は板の間でもタタミでもどちらでも使えるように。
- ・アトリエはある程度、専門的な仕様にしたい（つくりの問題）。
- ・作品展示が可能か（市民文化祭くらい？）？
- ・吊り下げる展示ができるような設備を用意してほしい。
- ・会議の時に他の部屋からの声が聞こえないような構造
- ・倉庫は1階部分に設置すること。
- ・郡中地区は市内人口の約46%を占めており、テント、机、椅子などの備品が、他の地区公民館より少ない現状であるから、体育倉庫や備品庫を広く構える必要がある。
- ・今までのように道具を置きっぱなしにしないで、小さい貸し出し倉庫を。
- ・リハーサルルームの収容人数は？防音されていますか？
- ・会議室の収容人数の目安が不明。何人で会議なの？
- ・学習コーナーとは？

多目的スペースについて

- ・多目的スペースについて、広さを見直すと、他のスペースを広げる（図書館、歴史資料館など。）ことが可能になるのでは。
- ・多目的室はどういった利用をするのか？
- ・公民館でスポーツをするというのは良くないのでは…。あくまで文化施設として…。
- ・多目的スペースは体育館ではないホールにしたい。
- ・多目的スペースの天井を通常の高さにする。→日影が良くなる。
- ・スポーツスペースにも活用
- ・集会所として活用

防災対策

- ・大震災時には断水となり、3日程度の応急給水体制の充実を図るために、緊急貯水槽を設置すること。
- ・災害が発生した場合に、公共避難場所として指定されることになる。救援物資を備蓄する倉庫部分のスペースを確保すること。

その他

- ・オープン化と言っても、何でもかんでもガラス張りになっているがどうか？上半分がガラスとかにした方が良い。
- ・音楽、芸術、アートギャラリー、学芸会、パーティなど、多様な利用ができるように整備しましょう（飲食もできるように。）。
- ・これまでの公民館のような形態でなく、縁側でつながった「共用スペース」の配置はいいですね。
- ・アトリエに水回りを。

- ・防音など。
- ・リハーサル室にピアノは置けますか？

■出されたポストイット【運営面】……………

多世代、多様な人が利用できる場

- ・高校生と中学生と小学生も利用できるように。交流の場として。
- ・保育園児たちの利用ができるように。
- ・アトリエでの美術、音楽、ダンス等のコラボは可能か。
- ・ダンスの練習などができるよう、大きな音も許可してほしい。
- ・多目的スペースを特定の団体だけでなく、より多くの人達が利用できるようにしたいと思う。
- ・今の大会室は体育館になっている。バレーなどで独占されている実態を変えないといけません。
- ・アトリエ、リハーサルと使用目的を決めないで、多様に使えるようにしてほしい。
- ・柔軟な使い方ができるような工夫。フロア↔畳
- ・「〇△室」と決めないで、広くも狭くもなるシキリを使って利用する。

運営について

- ・使用料はどうなるのか？現在の規定で使えるのか？
- ・使用料は市民とそれ以外で違うのか。市民にはメリットを…？
- ・公民館については、施設と運営は区別すること。一元的管理をするには制度的に見直すべき。
- ・図書館、文化ホール、公民館の管理者は同一にしなければ利用しづらいのでは？
- ・公民館の諸機能は、図書館機能の一部。一体的運用を！
- ・サービス業だ！という認識
- ・使用時間を長くして欲しい。
- ・アトリエ、リハーサル、会議など、24時間OPEN
- ・飲食ができること。
- ・公民館の名称を考えて。公募。地域外の人も利用

郡中公民館と中央公民館の役割の整理が必要

- ・中央公民館は、特色がある公民館事業や地域振興に伴う事業を主体的に行っていないので、施設はなくてよい。中央公民館組織の機能があれば良いことである。
- ・公民館設置条例により、市内の6地区公民館と中央公民館を設置することになっており、今回は郡中地区単独の公民館の機能とすべきことである。
- ・中央公民館の機能は、新市庁舎の中に事務局を置くこと。
- ・郡中公民館の事務所をどうするか（閉館中にふるさを創生館におくとか。）。

まとめ

最後に、今日参加しての感想やご意見などを感想カードに書いていただきました。



多くの人と話せて有意義だった



- ・初めての参加でした。幅広い年齢層の方と同じ議題について長い間話し合うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。自分の出した意見が他のグループの人の代表で発表しているのを見ると、とても嬉しくなりました。施設ができる4年後の2018年がとても楽しみです。伊予市の皆さんと素晴らしい施設にしたいです!!
- ・文化ホールの規模については、後に「シマッタ」と思われる事の無い様、慎重に検討願いたい。伊予市民全体の施設であることを肝に銘じてもらいたい。大変有意義な会合でした。ありがとうございました。
- ・今日学んだ現状では、高齢者の方や障がい者へのバリアフリーなどがあまり出来ていないことが分かって、これからあと8回で、できるだけ誰でも気軽に利用してもらえるようにがんばって意見を出していきたいと思います。
- ・若い方がたくさん参加されていて、頼もしく感じました。前回欠席でしたので理解が遅く申し訳なかったですが、多くの皆さんの意見が聞けて良かったです。
- ・いろいろな意見から、全部かなえられたらすてきな完成建物が出来ると思います。一つでも多くの希望が通る事を願っています。
- ・今回はたくさん席替えがあったおかげで、いろいろな意見を聴くことができました。この施設が建つ頃にはもう学生ではないかもしれませんが、その時の学生がたくさん利用したくなるよう、これからも参加していきたいと思っています。
- ・今日もたくさんのご意見を聞いて、参考になりました。次回も楽しみにしています。
- ・図書館、文化ホール、公民館、いろんな話を聞くと参考になることが多いし、思ってもみなかったアイデアに出会うことができ楽しい。要望すべてが通る訳ではないけれど、良いものにしたいという思いは一緒なので、可能な限り意見を取り入れてほしい。
- ・今日、初めてワークショップに参加させていただいたが、充実した時間だった。テーマに対する意見で高齢の方の意見、設計者の意見を聞いてるとおもしろかった。
- ・今回も幅広い意見が出て、そういう見方もあるのかと、よかったと思います。
- ・各施設、全てに意見を出すことができ、みんなの思いも知ることでよかったと思います。伊予市民にふさわしい施設ができることを願っています。
- ・今日、初めて参加させていただいて、皆さんの熱意ある意見を熱心にされているのを聞くことが出来て、伊予市の皆が一つになっていい物を作る気合いが伝わってきて力強く感じました。私の気持ちも書くことができ、良かったです。
- ・私は初めて来たので、なにがなんだかさっぱりわかりませんでした。いろいろな人たちといろんな話を聞けたので良かったです。次は8月10日なので、いけるようにがんばります。
- ・図書館の全体像がまだイメージできない。参加者の熱心に感心（時間が早く進む。）。
- ・熱い討論ができていると思います。



管理・運営について



- ・民間に任せるとするのは少し反対です。やっぱり公の施設です。いい雰囲気の話合いになって良かったです。また参加したいです。
- ・会議室（公民館）については、市役所の活用も考えられる。市内施設の利用状況や予約etc. トータルで検索でき、予約できるようなシステムも考えよう。「だれでもわかりやすい」使用をみんなで考え合しましょう。
- ・運営等について、色々と考えてみたいと思っています。
- ・多くの方の意見を聴き、施設を造る上で真剣に考えている事がわかり嬉しく思った。でも夢の様なホール、図書館だけれど、その莫大な予算、運営はどうなるのか憂える部分もある。運営していく上で全て職員ではまかなえないと思うので、ボランティアの活用が必要だと思う。



いろいろなことがよくわかった

- ・ワークショップは有意義だと思う。
- ・いろいろなことがあり、非常に良くわかった。
- ・良くわかりました。
- ・今日の会で色々な事がわかり、出来上がるのが楽しみに成りました。
- ・今日は討論内容も具体的にになり、実行化への形が見えてきました。図書館の討論グループに属していましたが、将来図書館を大いに利用したいと思っていますので、参考になりました。ミカンまるのバッチが欲しい！
- ・ミカンまるがほしい。



情報の出し方について

- ・限られた時間で意見を出し、まとめないといけないので、事前にワークショップでどのような意見出しをするか連絡いただくと良いかと思いました。様々な世代の方が集まり、意見を出せたのは良かったと思います。
- ・真剣で有意義な議論ができたと思います。ゆっくり考えたい問題もあるので、次回への課題をいくつか絞って提示して考えて来てもらうことも必要ではないかと思っています。
- ・設計図の広さ（何㎡）や何人用の部屋なのか明記してほしい。いろんな意見、とても参考になりました。
- ・設計者からの提案にサイズがないので検討しにくい。具体的に提案されたい。又ホールの定員は350名で十分。過大なホールは維持管理に大金を要す。大は小を兼ねない！
- ・次回は具体的数値の入った図面で検討したい。今回のワールド・カフェ^{※20}方式は入りやすかった。
- ・違う人と話したり、違う人の話を聞いたりして楽しかったです。説明の紙をもうちょっと分かりやすくしてもらいたいです。次回はもっといろいろな人と話したいと思いました。
- ・初めての参加でしたが、意見が出る環境づくりに配慮しておられて良かったです。継続的に開催されるうえで、3施設の基本計画の図面を個々にいただければ有り難いですが。

※20 ワールドカフェ…カフェにいるようなリラックスした雰囲気の中、参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に対話を行い、ときどき他のテーブルとメンバーをシャッフルしながら話し合いを発展させていくこと。

※21 MIN値…最小値



施設に対する要望

- ・文化ホールについては500人をお願いしたい。伊予市、伊予郡の小中のPTA大会があると思いますが、300～400人ではダメなのでは？公民館を分科会、全体会をホールで開催できる様に！
- ・文化ホールの管理と公民館の管理を明確にする事により話が分かれるので、しっかり体制を決めておくこと。多目的ホールの大きさについて聞き漏らしたのですが、バレーボール2面が取れる大きさに。文化財、展示コーナーの説明がなかったので説明をお願いしたい。
- ・新設の場合に、どうしても理想を求めてしまいます。要望にとらわれすぎずに、適正なものを作って下さい。建設費のみならず運営費もMIN値^{※21}になるよう検討していただきたい。勝手に言いますがよろしくお願いします。
- ・文化ホールを500人という意見があったが、身の丈を考えるべきだと思う。300人+αが伊予市民が使いやすいスペースだと思う。
- ・既存の図書館、市民会館、そして中央（郡中地区）公民館それぞれに課題があった。それを統合した施設を建設しようとしている。それによって共用可能の部分でもでき利点ではある。新設の図書館と文化財資料収集、展示の施設はよほど工夫が必要になる。公民館は既存の大集会室（軽スポーツ利用含む）、会議室3、視聴覚室、料理研修室、茶花研修室（和室）、工芸室はほしいとなると、よほど工夫が必要となる。



考え方を整理する必要があるのでは

- ・この灘町にできる文化ホール、公民館、図書館と今までにあるウェルピア、森の体育館などどのように役割を分担するのか。大まかでも知りたいのですが…、いかがでしょう…？
- ・文化ホール、図書館、公民館への要望がかなり出てきていると思います。図書館については、歴史資料館関係について、この中で納めるものと他の施設との関連で考えることを整理すること。文化ホールについては300～450席で良い。プロセニウム型について意見を集約していく。公民館については他の機能との共用は運営でカバー出来る。多目的スペース＝体育館の見直しを図る。
- ・公民館の多目的スペースの利用について、地区の希望、公民館法（社会教育法）等により複合施設としての有効な利用を検討する必要がある。体育施設としてだけはもったいない。



ワークショップの進め方



- ・5分でいいから休憩がほしい（3時間はやはり長い。超えだし…。）。もし立って見ているなら、役場の人もワークショップに入ってほしい。託児希望者（子育てママ）が来ないのは呼びかけが足りないのでは？学校、保育所を通じた呼びかけは？運営の問題→やる気のある人を職員に（役場）。公募の館長やスタッフもいいと思う。稼働率10%の文化ホール…活用しようという動きが必要。文化に力を入れてほしい。芸術鑑賞、ふれる機会を多く！特に子どもたち、若い世代（高校、大学、20代）向け。話し合いに際し、今、どんなことにつかわれているか（特に文化ホール、多目的室）、他にはどんな可能性があるか、目的、ねらい等を具体的に聞いてから話したい。席は500もいない。現実を見よ。
- ・色んな意見が数多くでていますが、総て反映する事は不可能だと思いますが、最終的なすり合わせはどうするのか？少数意見はある程度切り捨てても必要
- ・第2回ワークショップ、良かったです！毎回分科会が変わり、なお途中でメンバーチェンジもユニークで良いと思う。交流の中でいい施設を造り上げたいと思う。
- ・一度にホール、図書館、公民館を一括しての討議は少々無理があるように思いました。時間的にも厳しい。
- ・各自の意見を大切にしたい、会の進め方でとてもよかった。
- ・グループでのワークショップはいいと思いますが、テーマ分けでのグループ分けでの討議はちょっと検討の要あり。
- ・文化ホール、図書館、公民館の複合施設ということで、長時間になるのは仕方ないと思うが、終了時間は厳守して欲しい。文化施設なので市民の関心や意識も高いと実感。参加者が文化意識のある方が多いので、当然の結果だとは思う。このワークショップでの意見が、どのように反映されるのか？次世代の人達にあって良かった。役立った。伊予市の財産になる施設を。
- ・ワークショップに初参加しました。個々の意見が段階を踏んでまとまっていき、納得のいくものでした。図書館、文化ホールがどのように創（造）られていくかが楽しみになりました。公民館については発表でまとめられていて理解できました。小中高生の参加、発表もあり、しっかりしていて感心しました。
- ・1つのテーマに対して話し合う時間が短く、消化不良気味になってしまった。最後にテーマ別のテーブルに分かれてまとめ作業をする折りに、やはり時間が足りなく、「まとめ」にならなかった感があった。代表的な意見発表にならなかった点が惜しまれる。



みんなの意見が反映された施設に



- ・前回出席できなかったのですが、最初に前回の内容についての説明があったので分かりやすかった。いろいろな世代、立場の人の考えが反映される施設になることを祈って、また参加できる時に参加したいと思っている。
- ・前回来れなかったのですが、今日のワークショップで、今回も中高生も参加し、中学生もしっかりした意見を持っていて感心しました。又、図書館、文化ホール、公民館についての討議、意見を市民の希望者参加で出し合って、建設の方向に向けていく、とても素晴らしい。市民の心のこもった、まとまった意見から出来る施設となるのではと楽しみにしています。
- ・2回目ということですが初めて来ました。図書館、文化ホール、郡中公民館について考えを述べるということはとても緊張しましたが、自分の意見を述べるのができたので良かったです。またみんなのため、意見をのべたいです。
- ・参加させていただき、利用させていただく立場から意見も出し、いろいろな意見も聞かせていただき、大変勉強になりました。市民の声を直接活かしていくワークショップ、今後が楽しみです。
- ・一見、理想的に思える計画も、粗を探せばいくらかでも出てくるものなんだなと思いました。予算は有限なので問題をなくしてほしいとまではいいませんが、減らすことができるように取り組んでもらいたいです。
- ・今回も色々と意見が発表されたが、最終的に何を基準に集約するのか。少子化の時代に対して、又、市の財政を充分に考える。運営は民間主導で、営業マンとボランティアの公募をお願いします。